

経過報告

昭和三年一月第五回聯盟大会より今年十二月第六回聯盟大会に至る間の一般労働情勢並びに本聯盟の諸経過に關し報告すること左の通りであります。

一、一般労働情勢

一九二八年度に於ては世界労働情勢に現はれた最も顕著なる事實は「産業平和」と「産業合理化」の新題目であります。而して前者が勞資協調の新表現であり、後者が資本主義経済組織の安定を目的とする「産業の科学化」であることは謂ふ迄もありません。然かも「産業平和」が英米に於ける總罷業の反動的作用であり、「産業合理化」が経済不況の切掛策たることに於て両者が果して勞資問題解決の最後の鍵たるを得るか否かは甚だ疑問であります。この二つの題目は我々内に於ても次第に問題化を此つゝあるやうであります。將來吾々各注意を要する点であります。